

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	教養基礎	科目名	日本語表現法					科目コード	TL401A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	小原 和子	履修グループ	1I(BI/BO)					授業方法	講義	
実務経験の内容										
学習一般目標	『ことば』は使わないと忘れます。そして意識して使わないと、いざという時に使えなくなってしまいます。自分の気持ちや考えの繊細な部分までをも伝えるには、豊富な語彙が必要です。自分の気持ちや考えを適切な言葉を用いて伝えられるようになると相手の気持ちや考えを、もっと深く理解することができると思っています。また、相手との関係性や場に応じた適切な日本語表現力も必要です。そのことが就職活動や仕事の場で自分を理解してもらえたり、日常生活の場において様々な人と心を通わせられたりすることにつながると考えています。この授業で、より一層伝わる日本語能力を身につけましょう。									
授業の概要および学習上の助言	語彙力・読解力・文章作成力は、日々の積み重ねが大事です。普段から言葉や文章に接してインプットすること、そして自分の考えを述べるなどして、アウトプットすることも心掛けましょう。 授業対策としては、基礎から学べる！文章カステップ【文章検3級対応】のテキストで予習・復習を行い、知識の定着を行いましょ。									
教科書および参考書	文章読解・作成能力検定(文章検)3級公式テキスト、基礎から学べる！文章カステップ【文章検3級対応】									
履修に必要な予備知識や技能	基礎から学べる！文章カステップ【文章検3級対応】、高校卒業程度の語彙力と日本語力									
使用機器										
使用ソフト	筆記用具、辞書(国語辞典など)									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	4	人との関係性及び場を理解した適切な日本語を使うことができ、語彙を正しく選択できる。								
	4	文法的・意味的に正しい文章を書くことができる。								
	4	文章構成を理解し、内容を要約することができる。								
	4	論理的な思考に基づいて意見文を書くことができる。								
	5	読むこと、書くこと、聞くことへの興味を持ち、積極的に取り組むことができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30	20						
		2.思考・判断								
		3.態度							20	
		4.技能・表現	30							
		5.関心・意欲								
	総合評価割合		60	20					20	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	■授業オリエンテーション	講義・実習	
第2回	■文章への苦手意識をなくそう	講義・実習	
第3回	■言葉に興味を持つ 文法を理解しよう	講義・実習	
第4回	■文章の全体構成を理解しよう	講義・実習	
第5回	■文を短くして、わかりやすく伝えよう	講義・実習	
第6回	■表現を推敲するとは？ 表記の推敲とは？	講義・実習	
第7回	■敬語の基本をマスターしよう	講義・実習	
第8回	■手紙文の基本、記書きの意義・効果	講義・実習	
第9回	■自分の考えを論理的に述べられるようにしよう 1(意見文の基礎固め)	講義・実習	
第10回	■自分の考えを論理的に述べられるようにしよう2 (意見文の基礎固め)	講義・実習	
第11回	■自分の意見を論理的に述べられるようにしよう3 (意見文を作る)	講義・実習	
第12回	■自分の意見を論理的に述べられるようにしよう4 (意見文を作る)	講義・実習	
第13回	■自分の意見を論理的に述べられるようにしよう5 (意見文を作る)	講義・実習	
第14回	■日本語表現法の総復習1	講義・実習	
第15回	■日本語表現法の総復習2	講義・実習	